

大分市が福岡市通勤圏になる！

大分市の高速インター付近の居住者に限っていえることであるが、大分市から高速バスで、福岡市の博多駅辺りまで来るのに2時間かかっている。

日帰り通勤では2時間が限界である。聞くところによると、実際、大分市から通勤している人もいう。一般には通勤の限度は1時間半であろう。

そこで、既往の提案も組み合わせた大分ー福岡通勤時間短縮作戦を提案したい。

片道30分の短縮を図ろう。

1. 15年度の提案には、サザンクロスプロジェクトと称して、西鉄大牟田線と鹿児島本線が、南福岡で単純クロスするところに結節点を設けて「福岡南駅」とする計画が示されている。
2. 福岡外環状道路は、その駅より500メートル離れた位置を通っている。その高架道路の板付インターと「福岡南駅」を直結させ、駅にはバスターミナルも併設する。

何が可能か？

従来型の運行：大分→鳥栖ジャンクション→太宰府インター→福岡都市高速道路→天神北→天神バスターミナル→街路経由博多駅着⇒所要時間＝2時間

新規型の運行：大分→鳥栖ジャンクション→太宰府インター→福岡都市高速道路→外環状道路板付インター→福岡南駅ターミナル下車→JR鹿児島本線経由博多駅（→西鉄で天神）

南福岡駅から鉄道に替えることで、30分の短縮効果があろう。往復一時間の短縮は、大分市を通勤圏とする可能性を飛躍的に高めるだろう。日田からであれば十分な時間距離の範囲にあるだろう。

3. 南福岡駅周辺は、福岡市の南の玄関になる。天神の過密を防ぐ第二の副都心ともなろう。駅ビル及び周辺道路などは、PFIでの建設を検討するが、まずは簡便な乗り換え施設を作って、ユーザーの評価を聞くところから始めたい。

（注：数字は確認の必要あり）

